

(3) 本時の学習展開

●ねらいーまとめ ○理解を助けたり, 関わりを深めたりするための支援

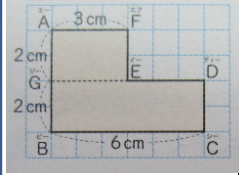
1 学年

4 学年

学習活動と求める児童の反応	指導上の留意事項	評価規準 (評価方法)	資質・能力の 評価 (評価方法)	学習活動と求める児童の反応	指導上の留意事項	評価規準 (評価方法)	資質・能力の 評価 (評価方法)
1 本時の課題を設定し, 解決への見通しをもつ。				1 本時の課題を設定し, 解決への見通しをもつ。			
<p>○復習の問題をしましょう。</p> <p>○問題を読みましよう。 ※問題文は板書計画</p> <p>○これまでのひき算とのちがいを確認しよう。</p>	<p>○既習事項を振り返り, 本時への見通しをもつ。 ・$17-4=14-4=$</p> <p>○問題文と絵から場面を想起し, ひき算であるという考えを引き出す。</p> <p>○デジタル教科書を使って問題場面を提示することで, 問題把握をしやすいとする。</p> <p>○問題文から計算方法について問うことで, 一の位同士では引けないことを理解し, 本時の学習課題を見出すことができるようにする。</p>			<p>○問題を読みましよう。 ※問題文は板書計画</p>	<p>○既習事項を振り返り, 本時への見通しをもつ。 ・長方形 たて×横 ・正方形 一辺×一辺</p> <p>○パワーポイントを使って問題場面を提示することで, 問題把握をしやすいとする。</p> <p>○一人で解かせることで, 「分かること」「分からないこと」を明確にさせる。</p>		
				●工夫して面積を求めよう。			

●3-9 はひけないので、ほかのかんがえかたをせつめいしよう。

2 課題を解決する。				2 課題を解決する。			
<p>○自分で考えましよう。</p> <p>○計算の仕方を、数図ブロックを使って考えよう。</p> <p>・9は3からひけないけれど、10のまとまりからひける。</p> <p>○一列に並べて一つずつ引こう。</p> <p>○10とばらにわけて、10の方から引いて、残りをばらと合わせよう。</p> <p>○10とばらにわけて、ばらの方から引いて、残り</p>	<p>○数図ブロックを使って考えるよう助言することで、半具体物の操作を根拠に考えをもつことができるようにする。</p> <p>○数図ブロックを動かしながら操作の仕方を説明するよう指示することで、自分の考えを、操作と言葉で表現できるようにする。</p> <p>◎ (十何) - (一位数) の計算方法を見出せているかどうかを、半具体物の操作や話し合い活動から見取る。</p> <p>○どちらの方法が計算しやすいか問うことで、それぞれの計算方法の要点を確</p>	<p>○数図ブロックを操作し、計算方法を見つけることができる。</p> <p>【数学的な考え方】</p> <p>数図ブロックを操作し、10から引いた残りとしておいた数を合わせる仕方が理解できる。【数量や図形についての技能】</p>		<p>○自分で考えましよう。</p> <p>○自分の考えを整理しまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図形を分割するという考え方 ・図形の全体から引くという考え方 <p>○解決方法を話し合い、考えを交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助線を引き2つに分けて考える方法 	<p>○どのように図形をとらえれば求めることができるか、折り紙等で示し、視覚的に支援する。</p> <p>○見通しがついた児童から、図形のシートを取らせ、自分の考えを書き込ませる。</p> <p>○見通しのもてない児童には、手掛かりとなるヒントカード(色分けをした図)を示す。</p> <p>○わかりやすく考えを表現するために、言葉や図、式を示しながら説明させる。</p> <p>○比較や分類を通して、共通点や相違点を意識できるように、わからないとこ</p>	<p>○長方形を組み合わせた図形の面積の求め方を、既習である長方形や正方形に分割するなどして考え、図や式などを用いて説明している。</p> <p>【数学的な考え方】</p>	<p>②思考力・判断力・表現力</p> <p>自分の考えたことを図や言葉などを使って数学的に表現する。(行動観察)</p>

<p>を 10 から引こう。 ○たしかめをする。</p>	<p>認することができるようにする。 ○13から1ずつひいていき、答えが4になることを確認する。</p>					<p>ろは質問させるよう促す。 ○具体的な表現になるように、全体の理解度を確認しながら、ラミネートの図や言葉を見て関連付け、区切って発表できるよう支援する。 ○図形と式が結びつくように、対応させながら板書を書くなど視覚的な工夫をする。 ○面積の求め方を振り返り、自分の考え以外の方法があることに改めて気づき、考えを整理させる。</p>	<p>○どの考えも既習の長方形や正方形の形を基にして求めていることに気づき、既習を活用するよさを認めている。 【算数への関心・意欲・態度】</p>	
3 本時のまとめをし、適用題に取り組む。								
<p>○見出した方法を活用して適用題を解き、次時への見通しをもつ。 ○本時の学習をまとめる。</p>	<p>○ 減加法で適用題を解くよう指示することで、減加法のよさを感じながら理解を深めることができるようにする。 ◎ (十何) - (一位数) の計算を解くことができるかどうかを、数図ブロック操作の様子から見取る。</p>		<p>②思考力・判断力・表現力 13-9 の計算の仕方を理解し、その計算の仕方を使って、12-9 などの被減数を分解して計算する減加法の計算の仕方を考える。(行動観察)</p>					
3 本時のまとめをし、適用題に取り組む。								
<p>●10のかたまりからひけば、けいさんできる。</p>					<p>○本時の学習をまとめる。</p>	<p>○学習の内容を振り返るとともに、階段型の面積の求め方について、児童の言葉を</p>		

4 本時の学習を振り返り、次時の学習の確認をする。			
○今日の学習で分かったことや、これからもっと学びたいことを書きましょう。	○本時の振り返りをさせるとともに、次時の学習への意欲をもたせる。		
			もとにまとめさせる。
			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>●長方形や正方形の形に分けて考えることで、面積を求めることができる。</p> </div>
		○確認問題を する。 ○レベルに応じた問題を する。	○どの方法が問題に適しているかを判断させる。
4 本時の学習を振り返り、次時の学習の確認をする。			
		○本時の振り返りをし、本時で分かったこと、これからもっと学びたいことを書く。	○本時の振り返りをさせるとともに、次時の学習への意欲をもたせる。

(5) 板書計画

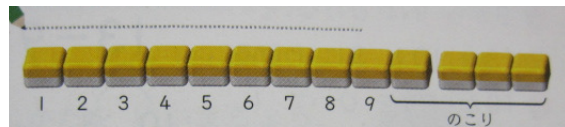
1年生

11/10 ひきざん

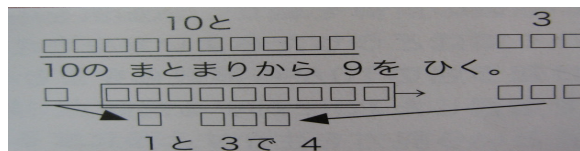
① 3-9 はひけないので、ほかのかんがえかたをせつめいしよう。

② さつまいもが13こ、あります。9こつかいました。なんこのこっていますか。

しき $13-9=$



けいさんのしかたをかながえよう。



③ 3から9は、ひけない。

④ 13を10と3にわける。

⑤ 10から9をひいて1。

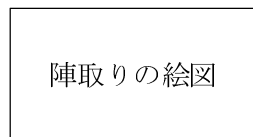
⑥ のこった1と3で4。

⑦ 10のかたまりからひけばよい。

4年生

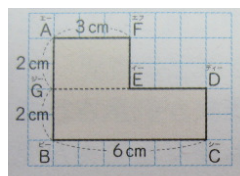
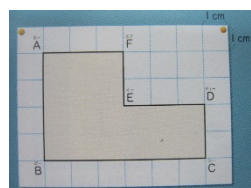
11/10 広さを調べよう

① 工夫して面積を求めよう。



②

- 習った形に変形できる？
- 切って長方形にする。



$2 \times 3 + 2 \times 6 = 18$ 答え 18 cm^2

2つの長方形に分けた。

共通していること①習った図形にしている。

②長方形の面積の公式を使っている。

③長方形や正方形の形に分けて考えることで、面積を求めることができる。

